

トップメッセージ

「地の恵み スパイス&ハーブ」を通じて、
世界中の方々の健やかな暮らしに貢献します



エスビー食品株式会社
代表取締役社長 池村和也

私たちが目指すもの

エスビー食品グループは、創業から100年以上にわたり、日本の香辛料のトップメーカーとして、味と品質にこだわった製品づくりを続けてまいりました。私たちの製品のほぼすべてに使用されているスパイスとハーブは、太陽の光をたっぷりと浴びて育った植物からの貴重な収穫物です。木の実や葉、樹皮、根などからなるスパイスとハーブを丁寧に加工することで、暮らしに役立つ製品を皆さまへお届けしています。そして、そこから得られる収益は、次なる植物の種まきや栽培へとつながり、新たな地の恵みを育てています。このような私たちの事業活動は、まさに植物と食のサステナブルな事業であり、地球との共生を図るものです。

企業理念「食卓に、自然としあわせを。」は、自然の産物であるスパイスとハーブを原点に、食卓を通じて、皆さまのしあわせに貢献することを示しています。

私たちはこの理念のもと、「『地の恵み スパイス&ハーブ』の可能性を追求し、おいしく、健やかで、明るい未来をカタチにします。」というビジョンの実現を目指して取り組んでいます。このビジョンには、当社グループのコアコンピタンスであるスパイスとハーブを科学的に解明することで、おいしさだけではなく無限の可能性を引き出し、人が日々、おいしく食べて、健やかに暮らすためのお役に立ちたいという強い想いが込められています。

地球環境や世界情勢の変化、価値観の多様化、テクノロジーの進化など、世界全体が急速に大きく変化するなか、このビジョンの実現に向け、私たちはスパイスとハーブの可能性をより一層追求し新たな価値を創造するとともに、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献してまいります。

持続的な成長に向けた事業基盤の強化

ビジョンの実現には、挑戦的な改革が不可欠であると考えており、持続的な成長に向けた3つの長期テーマを掲げています。1つ目は、「2043年に海外売上高比率40%超を目指すこと」、2つ目は、「スパイスやハーブの研究を加速させるとともに、栽培技術の獲得や産地開発への取組みをさらに深めること」、そして3つ目は、これらをより確かなものにするために「グローバル人財・デジタル人財・研究者などの育成に向けた教育を進めること」です。この長期テーマに沿って改革を進め、変化の激しい時代においても価値を提供し続けることで、持続的な成長を目指します。

成長エンジンである海外事業においては、事業拡大に向けた拠点の増強と海外サプライチェーンの構築に取り組むとともに、マーケティング活動をより一層強化するなど、世界中のお客さまとの接点の拡大

とブランド浸透に取り組んでいます。引き続き、各国の地域特性に合わせた提案活動により、事業展開を加速させてまいります。

国内においては、市場環境の変化への迅速な対応に加え、事業基盤の強化を積極的に進めています。特に、スパイスとハーブの機能性に関する研究をさらに深化させ、その成果を活用した機能性食品などの製品開発は、周辺領域を拡大させる重要な取組みです。また、栽培技術の確立や産地開発に注力し、調達力のさらなる強化と持続可能性の向上に努めてまいります。

財務戦略としては、連結配当性向30%を目標に、安定的な配当と増配に取り組み、長期保有に資する株主還元の強化を図るとともに、政策保有株式の縮減を進め、資本効率を向上させてまいります。

第3次中期経営計画の最終年度へ

【振り返り】

2024年度を振り返ると、国際情勢の不安定化や金融資本市場の変動など、依然として厳しい事業環境が続きました。食品業界においても、お客さまの節約志向が一段と高まり、消費行動や市場構造に継続的な変化が見られました。

価値観やライフスタイルの多様化が進むなか、従来の製品やブランドの価値を超えた新たな価値創造の機会が拡大していると認識しています。これまで以上に複雑化、高度化するニーズに対応するためには、より一層お客さま視点での製品開発とコミュニケーションの強化が必要です。また、海外市場でのブランド



浸透や販路拡大は今後の成長に向けた重要な取り組みであり、それを支える供給体制や組織体制の継続的な強化も事業の成長に不可欠です。そして、環境配慮や資源循環などの社会課題への対応は、持続可能な成長を目指す上では非常に重要です。

こうした課題に対し、私たちは第3次中期経営計画に基づき、高付加価値製品の開発・販売強化、海外事業の展開など、各施策を着実に推進してまいりました。2024年度の業績については、これらの施策の推進が成果につながりつつある証と捉えています。

【最終年度に向けて】

第3次中期経営計画の最終年度である2025年度については、厳しい事業環境が続くと見込まれますが、持続的な成長に向けて、重点施策を中心とした各取り組みを推進します。

国内事業では、香辛料市場を牽引する製品や高付加価値製品の開発とその価値をお伝えする活動に引き続き注力します。加えて、スパイスやハーブの健康機能を活かした製品の展開を通じて、お客さまに新たな価値を提供します。さらに、アップサイクルの取

組みとして、第1弾製品「本鶏だし」に加え、第2弾製品「フレッシュハーブティー」の訴求を通じて、さまざまな年代、志向やニーズの方々に当社グループの理念・ビジョンや具体的な取り組みをお伝えし、共感を得ることができるよう努めてまいります。

海外事業では、重点エリアである北米や西欧、東アジア、ASEAN・豪州を中心に、SNSを活用したマーケティング活動や販路開拓を推進し、各市場の特性に応じた柔軟な対応を進めます。また、「S & B」が信頼できる日本食のブランドであることをお伝えするべく、海外向けブランドメッセージ「Authentic Taste of Japan」を活用し、「S & B」ブランドの認知拡大に注力します。そして、売上の柱である「ゴールデンカレー」「ねりわさび」「うまみトッピング（輸出専用具入りラー油）」に続く新たな主力製品の開発と育成や、未開拓市場への進出など、海外事業における成長基盤をさらに強化します。加えて、2025年2月には、タイ王国に生産拠点を設置することを目的とした現地法人を新たに設立しており、海外サプライチェーンの構築を進めてまいります。

サステナブルな価値創造への取組み

サステナビリティの推進については、取締役会直轄のサステナビリティ委員会を中心に体制を構築しています。その下部組織として、環境部会、人権部会、サステナブル調達推進部会、サステナブル商品開発部会、エンゲージメント推進部会を設置し、目標設定から進捗管理、達成状況の評価まで体系的に実施しています。

環境保全については、単なる環境負荷の低減にとどまらず、事業を通じて社会や地球環境をより良いものにしていくことが、企業の責任だと考えています。特に、気候変動や生物多様性の減少は重要な社会課題であり、当社グループの事業にも重大な影響を及ぼすものと認識しています。

持続可能な調達の推進において、香辛料・パーム油・紙の持続可能な調達に関するコミットメントに掲げる2030年度目標の達成に向けた施策に取り組んでいます。また、産地から食卓までの環境負荷低減を目指し、プラスチック使用量およびCO₂排出量の削減を目的に、環境に配慮した紙パッケージへの切り替えを一部製品において進めています。今後も、持続可能な調達への取組みを進めるとともに、カーボンニュートラルや循環型社会の実現に向け、グループ丸となって活動を推進してまいります。

人権については、私たちの事業活動が人権に影響を与える可能性があることを深く認識し、関わるすべての人々の人権を尊重するため「エスビー食品グループ人権方針」を策定しています。従業員が安心して働ける環境づくりや、原材料調達における人権への配慮をはじめとして、継続した人権尊重への取組みに努めてまいります。

また、社会から必要とされる企業であり続けるため、食育活動をはじめとする地域社会やお客さまとの

コミュニケーションに積極的に取り組んでいます。食の大切さや魅力の発信、健やかな食生活の啓発などの活動は、地域社会やお客さまとの信頼関係を築くとともに、私たちの事業が社会に果たす役割を再認識する重要な機会となっています。

サステナブルな価値創造の源は、人的資本の充実にあると考えています。当社グループでは、従業員を「財産」と捉え、多様な人財がそれぞれの強みを発揮し、やりがいを持って働けることを大切にしています。持続的な成長のため、次世代を担う中核人財の育成や、デジタルやグローバルなど重点分野における専門スキルの獲得に向けた人財育成投資を行っています。キャリア自律の促進により組織の活性化を図るとともに、ダイバーシティ&インクルージョンの実現や健康で生き生きと働ける職場づくりを通じて、人的資本経営を推進し、社会から必要とされる人・企業になるべく取り組んでまいります。

コーポレート・ガバナンスについては、執行役員制度のもと、取締役と執行役員の役割を明確にすることで、意思決定と業務執行のスピードアップを図り、経営環境の変化に迅速かつ的確に対応しています。また、2024年6月に監査等委員会設置会社へ移行し、重要な業務執行に関する決定権限を取締役会から取締役へ委任しており、意思決定や業務執行のさらなる迅速化を図るとともに、取締役会の監督機能の強化等によりコーポレート・ガバナンスを充実させ、グローバルな企業価値向上を目指してまいります。

また、当社グループ全体の内部統制の充実を図るとともに、企業活動を取り巻くさまざまなリスクに対しては、リスクマネジメント委員会を中心に、継続的な管理体制の強化に取り組んでまいります。

エスビー食品グループのリーダーとして

変化の激しい時代だからこそ、私たちは「地の恵み スパイス&ハーブ」の可能性を追求し、目指す未来に向けた挑戦を続けます。

ビジョンの一節にある、「笑顔ある食卓、夢ある暮らしの中に『S & B』がある」という私たちの願いは、私自身が描いている理想でもあります。世界中のさまざまな食の場面に「S & B」があることを目指し、当社

グループならではの価値を提供してまいります。

すべてのステークホルダーの皆さまに信頼され選ばれ続ける企業となるべく、これからも力強く歩みを進めてまいります。

今後とも、ご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。